

ハンドボール

No 18

第66回国民体育大会 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月8日(土)	試合番号	A7[A②]	回戦	2回戦
種別	成年男子	会場	麒麟ビバレッジ周南総合SC(A)		

Aチーム名			Bチーム名		
熊本県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	9	前半	21	46	
	10	後半	25		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

立ち上がり早々に、日本リーグのハイレベルな選手を揃える広島県がリズムを掴み6連取、その後熊本県が1点を返したものの、広島県の高い6-0ディフェンスと12番GK志水の連携から、逆速攻で加点し優位に試合を進める。中盤熊本県12番GK構田のファインセーブや9番松本の速攻からリズムを掴み出し、徐々に追い上げを見せる。その後両チーム共にミスが目立ち始めたが、点差は縮まらず広島県が21対9の12点差で前半を終える。

後半出だし、広島県2番小賀野のロングシュートでスタート。その後、広島県4番樋口が退場するものの、熊本県のシュートミスが目立ち、広島県優位に試合は動く。セットオフェンスを攻めきれない熊本県は、確率の悪い位置からのシュートで得点が伸びない。

控えGKのいない広島県は、2番CPの小賀野をGKへ入れ余裕ある展開へと進む。結局、広島県が前後半を通して安定した試合運びで、準々決勝へと駒を進めた。

記載者氏名

石川 正樹

送信日時

10月 8日(土)

:

送信者サイン

秋定真樹

